

令和6年度 第2回 指定公立国際教育学校等管理法人評価委員会 議事概要

開催日時：令和6年12月17日（火）16時00分～17時30分

開催場所：大阪府立水都国際中学校・高等学校

開催方法：オンライン併用

出席委員：※新生委員、※池田委員、※大迫委員、大野委員、山下委員

※オンラインでの出席

議事概要：

1 開会

2 議事

(1) 令和6年度 指定管理法人 管理運営業務評価表について

・評価結果について説明

・質疑応答（○：委員、■：事務局、▲：指定管理法人・学校）

○指定管理法人の評価と所管課の評価が乖離している評価項目について、説明を願う。

▲生徒指導の項目について、民間の知見を活用した取組みを進めているところだが、生徒の学びの充実に関して、教育庁からまだ伸びしろがあるという激励を頂いていると考えている。

■生徒・保護者等の意見を踏まえた学校運営の項目について、生徒議会を開催するなど開かれた学校運営を進めているが、学校教育自己診断アンケートの結果公開ができていなかったことを踏まえ評価した。

○保護者会の検討状況について説明を願う。

▲来年4月に保護者会を設立することを目標に、月1回程度保護者代表等と検討会を開催した。

○国際バカロレア（以降、IBと言う。）教育を一条校に導入した主なねらいは課題探究型の学びを普及させることであることを踏まえ、水都国際で実践しているIBのコア科目であるCAS等でみられる課題探究型学習の教育手法を他の府立学校に普及させる取組みを指定管理法人、水都国際、教育庁が連携し進められたい。

■同校の学習成果を発表する「アカデミックフェア」を府立学校の教員等に公開し毎年開催するとともに、国際関係学科を設置する府立高校の合同発表会

に参加しプレゼン等を行っているところ。また、今年度は新たにマレーシアの中学校とのオンライン国際交流会を市町村立中学校及び府立学校の教員に公開して実施した。今後も指定管理法人、水都国際、教育庁が連携し、大阪府の学校教育全体の向上のため、拠点校の機能を充実させてまいる。

○スクールカウンセラーの充実に向けた取組みはいかがか。

▲大阪 YMCA よりスクールカウンセラーを週に数回派遣してもらっている。
スクールカウンセラーの常駐化も念頭にさらなる充実を検討する。

○課題探究型学習では ICT や SNS を利用する場面が多いと思うが、昨今その有害性が懸念されている。そのことを踏まえ、IB の要素を活用した教育の拠点校として、SNS の活用と指導について研究されたい。

▲SNS に関する危険性についての注意喚起は日々行っているところ。SNS の利用と活用について検討する。

○働き方改革について、説明願う。

▲部活動等の課外活動を水都国際では GAPS 活動としているが、GAPS 活動は生徒が教員に承諾を得て活動する形式であり、一般的な部活動と比べ、それほど教員の負担にはならないと考えている。今後も働き方改革を進めてまいる。

○大阪府は特殊詐欺が多いことに加え、万博を契機にキャッシュレス社会が一層普及していくと考えられることを踏まえ、若い時から金融について学ぶ必要性が高まっていると考えるがいかがか。

▲家庭科や社会科などの教科指導において金融に関する教育を実施しているところ。探究学習において、生徒が校内でキャッシュレス決済を用いたお弁当の販売を計画したことがあった。今後も金融に関する教育を推進していく。

(2) 今後の評価結果の取扱いについて

- ・事務局から説明

3 閉会